

令和5年度 金融庁行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 開催日時：令和5年6月15日（木）13時30分～15時35分

2. 開催場所：中央合同庁舎第7号館西館13階 共用第一特別会議室

3. 外部有識者（敬称略）

堀江 正之 日本大学商学部教授

4. 主な審議内容

事務局より、令和5年度の外部有識者点検対象事業について説明を行った後、質疑・応答を踏まえ、外部有識者から以下のとおり所見が述べられた。

「行政手続電子化推進調査費」

- 本事業は、金融行政の有効性と効率性向上にとって重要な意義があると認められるので、ぜひ推進していただきたい。
- 本事業を通じて日本銀行とさらにデータ連携がすすむと、より有益となるのではないか。
- 長期アウトカムについて、本事業の目的を踏まえ、金融機関のリスク管理体制の強化と金融機関による顧客支援・顧客保護とのつながりといった視点から、より踏み込んだ記載にならないか検討してはどうか。

「企業データ分析を通じた金融支援等実施経費」

- 本事業は、行政手続電子化推進調査と合わせて効果が上がるよう推進していただきたい。
- 長期アウトカムについて、本事業の目的を踏まえ、より明確な記載にならないか検討してはどうか。

「貸金業者等監督のための経費」

- 本事業は、社会的に意義あるものと認められるので、確実に進めていただきたい。
- アウトカムの定量評価について、より一層の工夫を検討してはどうか。

「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策向上に必要な経費」

- 本事業は、社会的に意義あるものと認められるので、確実に進めていただきたい。
- 本事業のアウトカム及びアウトプットについて、基礎的な調査研究という特殊性はあるが、本事業の目的に照らして、より明確なものとならないか検討してはどうか。

「金融デジタルイゼーション関連経費」

- 本事業は、金融行政の有効性と効率性向上にとって意義あるものと認められるので、

確実に進めていただきたい。

- 長期アウトカムについて、本事業の目的に照らして、より適切な指標がないか検討してはどうか。定量的な成果目標の設定が難しい場合には、定性的に記載することも考えられる。

以 上